



福井労働局発表

平成28年4月26日

担当	福井労働局雇用環境・均等室
	室長 野添雅恵
	監理官 高柳純子
	指導官 川口ひろみ
電話	(0776)22-3947

ゴールデンウィーク期間中における連続休暇の実施予定状況調査結果

— ゴールデンウィークには長期の連続休暇を！ —

福井労働局(局長 早木 武夫)は、管内の55事業場を対象に、「平成28年ゴールデンウィーク期間中の連続休暇実施予定状況調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

ゴールデンウィークの時期は、国民の祝日が集中していることや気候的に恵まれていること等、連続休暇を取得するうえで最も適した時期の一つであると考えられます。

福井労働局では、仕事と生活の調和を図る観点から、年次有給休暇の計画的付与や特別休暇の設定等による連続休暇の実施を呼びかけていくこととしています。

<結果概要>

○調査対象

福井県内の労働者数30人以上の55事業場

有効回答事業場数 53事業場(製造業28、非製造業25)

1 連続休暇(※)予定事業場は98%

連続休暇の実施を予定している事業場は、有効回答事業場全体の98%(昨年96%)を占め、引き続き高い実施率を示しています。

※連続休暇とは・・・

週休日(土曜・日曜日)、特別休日(国民の祝日・会社の特別休暇等)、年次有給休暇の計画的付与による休暇や、これらの組み合わせによる3日以上連続した休日・休暇をいう。

2 本年のゴールデンウィークにおける連続休暇の特徴

本年は、4月29日(昭和の日)が金曜日であり、翌4月30日が土曜日、5月1日が日曜日です。よって、連日休暇日数を増やす取組として、5月2日(月)若しくは5月6日(金)を休暇とする事業場が多くみられました。

また、4月29日を出勤日とする代わりに、5月2日を休暇とし、連続休暇日数を6日とする事業場もありました。

年	4月							5月							
	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
28	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
27	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

3 連続休暇の平均日数は5.2日 (表1~4)

連続休暇日数の平均は5.2日で、昨年より0.2日下回りました。その内訳は、製造業が6.5日(昨年5.9日)、非製造業が3.6日(昨年4.8日)です。

昨年より比べ休暇日数を増やした事業場は、製造業50%、非製造業29%で、理由は、「暦による。」が製造業、非製造業ともに最も多くなっています。

一方、休暇日数を減らした事業場は、製造業36%、非製造業71%で、こちらも理由は「暦による。」が製造業、非製造業ともに最も多くなっています。

製造業では5月2日(月)を休暇にして連続休暇日数を増やしている事業場が78.6%と最も多くなっていますが、非製造業では62.5%の事業場が、暦どおりとしています。

4 7日以上連続休暇事業場が増加！最も長い連続休暇は10日 (表5)

7日以上連続休暇を予定しているのは22事業場と、昨年(7事業場)に比べ大幅に増えました。その内訳は、製造業が19事業場、非製造業が3事業場です。

連続休暇を実施するにあたり事業場が取り組んだ内容別にみると、年間カレンダー(休日計画等)で予め調整している事業場が68.2%で最も多くなりました。

なお、最も長い連続休暇は、製造業の1事業場が予定している10日(昨年9日)です。

(表 1)

連続休暇の実施予定事業場数及び同平均日数

業種	調査回答 会社数	年	平均 日数	連続 7日 以上	連続休暇日数別会社数とその割合									
					3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
製造業	28	28年	6.5	19 68%	6 21%		1 4%	2 7%	12 43%	1 4%	5 18%	1 4%		
	27	27年	5.9	7 26%		5 18%	7 26%	8 30%	1 4%	5 18%	1 4%			
非製造業	24	28年	3.6	3 13%	20 83%		1 4%		3 13%					
	22	27年	4.8			8 36%	10 46%	4 18%						
合計	52	28年	5.2	22 42%	26 50%		2 4%	2 4%	15 29%	1 2%	5 10%	1 2%		
	49	27年	5.4	7 14%		13 27%	17 35%	12 24%	1 2%	5 10%	1 2%			

(注1) 製造業及び非製造業を合わせ55社照会を行ったが、2社については労働者数が30人以下であったため、本表のカウント対象外とした。

(注2) 対象期間中に3日以上連続休暇を2回以上実施するときは、その長い方を連続休暇日数とした。

(注3) 一斉に休暇を取得しないとする企業(件数 1件)については本表のカウント対象外とした。

(表 2)

連続休暇の合計日数の平成27年との比較

産業分類	件数	回答	回答事業場	割合(%)
製造業	28	増加した	14	50
		減少した	10	36
		変わらない	4	14
		無回答	0	0
非製造業	24	増加した	7	29
		減少した	17	71
		変わらない	0	0
		無回答	0	0
合計	52	増加した	21	40
		減少した	27	52
		変わらない	4	8
		無回答	0	0

(表 3)
連続休暇の合計日数が、前年より増加した事業場とその理由

製造業

(1) 連続休暇日数が前年より、増加した事業場・・・14

(2) 連続休暇が増加した理由

理由	事業場数	割合 (%)
暦の関係によるもの	12	86
景気情勢の影響によるもの	0	0
受注増によるもの	0	0
業務効率化促進によるもの	0	0
雇用合理化によるもの	0	0
その他(2日を会社指定の休日とした等)	2	14
回答なし	0	0

非製造業

(1) 連続休暇日数が前年より、増加した事業場・・・7

(2) 連続休暇が増加した理由

理由	事業場数	割合 (%)
暦の関係によるもの	5	71
景気情勢の影響によるもの	0	0
受注増によるもの	0	0
業務効率化促進によるもの	0	0
雇用合理化によるもの	0	0
その他	0	0
回答なし	2	29

(表 4)
連続休暇の合計日数が、前年より減少した事業場とその理由

製造業

(1) 連続休暇日数が前年より、減少した事業場・・・10

(2) 連続休暇が減少した理由

理由	事業場数	割合 (%)
暦の関係によるもの	7	70
景気情勢の影響によるもの	0	0
受注増によるもの	0	0
業務効率化促進によるもの	1	10
雇用合理化によるもの	0	0
その他(2日を会社指定の休日とした等)	0	0
回答なし	2	20

非製造業

(1) 連続休暇日数が前年より、減少した事業場・・・17

(2) 連続休暇が減少した理由

理由	事業場数	割合 (%)
暦の関係によるもの	11	65
景気情勢の影響によるもの	0	0
受注増によるもの	0	0
業務効率化促進によるもの	0	0
雇用合理化によるもの	0	0
その他	0	0
回答なし	6	35

(表 5)

連続7日以上連続休暇を実施する事業場の取組内容

産業分類	7日以上連続休暇を実施する事業場数	取組内容(複数回答)					
		年次有給休暇を(計画的に)付与している	振替休日を付与している	特別休日・休暇を付与している	年間カレンダー(休日計画等)で予め調整している	管理職が率先して取得を奨励している	なし
製造業	19	1	3	1	14	1	4
非製造業	3	1	1	1	1	0	0
合計	22	2	4	2	15	1	4